

工業倶楽部

KAGOSHIMA
INDUSTRIAL CLUB

■発行：(公社)鹿児島県工業倶楽部 ■企画・編集：総務・広報委員会 〒892-0816 鹿児島市山下町9-15 林業会館内
TEL 099-225-8012 FAX 099-225-8020 <https://www.ikic.or.jp> E-mail: info@ikic.or.jp



鹿児島県工業倶楽部総会・講演会 正副会長挨拶
シチズン時計マニュファクチャリング(株)鹿児島工場紹介
重点取組方針 第16回食と健康に関するシンポジウム
地域プラザ紹介

H3 ロケット 6 号機の打上げ

【日時】2026/06/12

【場所】種子島宇宙センター

【カテゴリ】ロケット・輸送システム

ロケットは計画どおり飛行し、第2段機体を所定の軌道に投入するとともに、打上げから約16分4秒後に PETREL 及び STARS-X を分離したことを確認しました。



H3 ロケット 6 号機（30 形態試験機）の打上げ（画像提供：JAXA）



公益社団法人

鹿児島県工業倶楽部新年大会

◆日時 / 令和8年5月18日(月) ◆会場 / 城山ホテル鹿児島(クリスタルガーデン)



寺田 雅一 副知事 (鹿児島県)



宮本 篤 理事・副学長 (鹿児島大学)



岩元 正孝 会長



〈講演〉天野 眞也氏 (株式会社カクシン)



〈企業紹介〉室屋 武 工場長
(シチズン時計マニュファクチャリング株式会社)



会場風景

5/18(月)に城山ホテルにおいて令和8年度通常総会が開催され、令和7年度事業報告・決算についての承認、および令和8年度事業計画・収支予算についての報告がなされました。

また、今年度は2年に一度の役員改選期にあたり、新たな理事候補として理事25名、監事2名が選出され、総会にて承認されました。総会終了後に開催された理事会においては、会長に岩元正孝氏、副会長に弓場秋信氏、横山勝一氏、米山高兆氏がそれぞれ選出されました。

総会後は、元キーエンス、現在は株式会社カクシンの取締役 CRO / エバンジェリストを務める天野眞也様をお迎えし、「高利益を生み続けるキーエンスの営業スタイルとは」と題して、その手法は自分のことを知ってもらい、相手の真のニーズを知り信頼を得ることで、付加価値のある提案を行い高収益につなげるといった手法について、大変有意義な内容でご講演いただきました。

続いて、シチズン時計マニュファクチャリング株式会社の室屋武工場長より鹿児島工場についてご紹介をいただき、鹿児島県内にこれほど素晴らしい技術を持つ企業があることに、会場からは高い関心が寄せられました。

当日は会員やご来賓のほか、一般の方も含め約110名の方にご参加いただきました。総会・講演会終了後には交流パーティーも開催され、令和8年度通常総会は盛会のうちに終了いたしました。



交流パーティ会場図



濱崎 誠二 鹿児島市産業局長



弓場 秋信 副会長

新正副 会会長 挨拶



会長
岩元 正孝 氏

公益社団法人鹿児島県工業倶楽部は、2025年に財政的な困難に直面し、組織の存続と将来を見据えた抜本的な改革を迫られました。その一環として、一般社団法人鹿児島県発明協会の切り離しを行うとともに、事務局体制の大幅な見直しと効率化を断行しました。厳しい状況ではありましたが、事務局職員の尽力と会員の皆様からの温かいご支援、ご協力により、困難を乗り越え、2026年へと歩みをつなぐことができました。

今期は新生・公益社団法人鹿児島県工業倶楽部として、信頼回復と組織基盤の強化に努め、地域産業の発展に一層貢献できる体制を再構築し、前向きに挑戦を続けてまいります。

よろしくお願いいたします。



副会長
弓場 秋信 氏

このたび、総会におきまして、7期目となる副会長を拝命いたしました。長期に渡り留まることに躊躇しましたが最後の務めと思い、お引き受けいたしました。

今日、少子高齢化もさることながら、生産年齢人口減が急激に進み人手不足が顕在化しています。また国際情勢の変化も予測不能な状況です。一方で、鹿児島には優れた技術や豊かな農林水産資源、特色ある食品など、世界に誇る魅力が数多くあります。私はこれまで貿易や海外市場の開拓に携わる中で、地域企業が海外へ挑戦することの重要性と大きな可能性を実感してまいりました。

微力ではございますが、本会のさらなる発展と地域産業の振興に尽力してまいりますので、引き続き皆様のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



副会長
米山 高兆 氏

先日の総会で副会長に選任されました。個人会員の代表として選任されたと理解していますので、よろしくお願いいたします。

ところで、工業倶楽部のモットーはものづくり、人づくり、ふるさとづくりです。技術開発・産業振興等を進めながら、それに関わる優れた人材も育成し、元氣な鹿児島を作っていくのが工業倶楽部の目的だと考えます。

そして工業倶楽部の魅力は、部会やプラザ等の活動にあると思います。コロナ禍以降これらの活動が低調なままですが、事務局とも協力して、部会やプラザ等の活動をより活発にしていきたいと思います。

ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、ご協力をよろしくお願いいたします。



副会長
横山 勝一 氏

公益社団法人 鹿児島県工業倶楽部は異業種交流、産学官連携を通じて地域貢献を目指しています。国際紛争、AIの急激な進化、頻発する災害等に対応するものづくりが求められています。特に戦争による不安定な経済活動、頻発する地震などの複合災害、線状降水帯による大量降雨に対する排水対策、野生動物の対応策、パンデミック対策、急激な少子高齢化に対応する看護体制の整備など革新的な技術の進化が求められています。

日本は初の女性総理就任から新しい時代の流れを感じます。時代の流れに合わせて岩元会長を中心に健全な活動を推進出来たらと思います。

シチズン時計 マニファクチャリング株式会社 鹿児島工場



シチズン時計の歴史と想い、そして技術と技能を受け継いだ工場

【沿革・所在】1991年、鹿児島県日置市に株式会社ハイメカを設立、操業を開始しました。2019年、グループ会社の再統合により、シチズン時計マニファクチャリング株式会社 鹿児島工場 となりました。

※ホームページ URL : <https://cwmj.citizen.co.jp/>

【事業内容】鹿児島工場は、腕時計のムーブメント（駆動装置）部品の主要生産拠点です。ムーブメントの時計の針を動かす歯車を、原材料から部品へと加工し各部品の組み立てまでを一貫生産しています。また、1,000台を超える生産設備を駆使し、 μm 単位の高精度で超精密加工を行っています。

ムーブメント



部品



自動旋盤



加工部



モノづくりを支える技術

部品を完成させるには、いくつかの工程で加工を行う必要があります。各工程では、切削、研磨、研削、塑性加工、表面処理、部品組立などの多様な加工技術を融合させることで、高精度な部品製造を実現しています。

モノづくりを支える技能

設備保全や金型メンテの技能も有し、部品の加工寸法精度を維持するため設備や金型の最終仕上げは、手作業で行っています。部品製造に使用する刃物（穴あけ）は、寸法精度の要求が高いため自分たちでつくります。



最後に私たちは技術と技能を磨き続け、未来を支えるモノづくりに挑戦し続けます。

令和8年度 鹿児島県工業倶楽部 重点取組方針

～限られた人員で最大の成果を生み出す
「選択と集中」の事業運営～

令和8年度事業計画では、AI・DXの推進、半導体関連産業への対応、産学官連携の強化、会員サービスの充実などを重点施策として掲げている。限られた人員で最大の成果を生み出す為に、本年度は「選択と集中」を基本方針とし、県内産業への波及効果が高い事業へ経営資源を重点配分する。

01 優先して取り組む事業

(1) AI・DX推進事業 【最優先】

生成AIやAIエージェントなど急速に進展するデジタル技術について、県内企業の経営力・生産性向上につながる実践的なセミナーや勉強会を開催する。

(2) 半導体・先端産業支援

TSMCや Rapidus など国内半導体産業の動向を踏まえ、鹿児島県内企業の参入支援や情報提供、大学・研究機関との連携を強化する。

(3) 産学官連携・公募事業

鹿児島大学、県工業技術センター、かごしま産業支援センター等との連携を深め、公募・委託事業を積極的に獲得し、財源確保と地域産業振興を両立する。

(4) 会員拡大と情報発信

会員増強を重点課題と位置付け、ホームページやSNSを活用した情報発信、魅力あるセミナー開催により会員サービスを充実させる。

02 見直し(スクラップ) 事業

限られた人員で効率的な運営を図るため、次のような事業は統合・縮小・休止を検討する。

- ・類似テーマのセミナーの重複開催
- ・紙媒体を中心とした広報活動（デジタル化へ移行）
- ・事務局負担の大きい県外視察については必要最小限とし、オンライン交流を積極活用する。

03 今後の事業運営

今後は、「工業倶楽部でなければできない事業」を明確にし、

- ① 県内企業のDX・AI活用支援
- ② 半導体・先端技術分野への対応
- ③ 産学官連携による新事業創出
- ④ 公募・委託事業による自主財源の確保
- ⑤ 会員サービス向上と会員拡大

の5つを重点施策として取り組む。

従来の「事業を実施すること」を目的とした運営から、「地域産業への成果を生み出すこと」を重視した運営へ転換し、限られた人員体制の中でも、県内企業にとって価値ある工業倶楽部を目指していく。



かごしまの 風土・産物が 生み出す 健康価値

【日時】2026年11月11日(水) 13:30～

【場所】鹿児島大学 稲盛会館(定員250名)

【主催】公益社団法人鹿児島県工業倶楽部【共催】鹿児島大学



～発酵・腸・薬草からひらく、健康の扉～

本シンポジウムは鹿児島の重要な地域資源である農産、畜産、水産等の食の資源を活かし、地域の健康づくりに寄与するとともに、行政・教育機関・企業、そして一般の方々が一堂に会する場を通じて、「持続的な成長に向けた未来への挑戦」をキーワードに、今後の成長産業としての可能性について産学官で連携を図り、新たなネットワーク構築や連携の機会を生み出すことを目的として開催されております。

第16回となる今回は、「発酵・腸・薬草からひらく、健康の扉」をテーマに鹿児島の食や植物が持つ恵みと、最新の研究・産業への応用や可能性を探ります。ぜひ皆様のご参加を心よりお待ちしております。

講師紹介

焼酎・薩摩黒膳と ストレス軽減・予防



鹿児島大学医歯学総合研究科
乾 明夫 特任教授
(焼酎、薩摩黒膳)

「薩摩黒膳」をはじめとする黒食材や焼酎の機能性に着目し、ストレス改善や生活習慣病予防など、食による心身の健康づくりに関する研究を進めています。

ラッキョウと腸内細菌の 健康パワー



鹿児島大学農学部
藤田 清貴 教授
(ラッキョウ)

ラッキョウに含まれる食物繊維(フルクタン)を分解するビフィズス菌の仕組みを解明し、腸内環境改善や免疫維持など、健康長寿につながる研究を行っています。

ホーリーバジルから 未来の創薬へ



鹿児島大学理工学研究科
濱田 季之 准教授
(COVID-19)

鹿児島産ホーリーバジルなどの植物に含まれる成分に、新型コロナウイルスの増殖を抑制する効果を発見。薬草資源から新しい治療薬開発や地域産業への発展を目指す研究を紹介します。

黒酒の発酵パワーと 食品への応用



東酒造株式会社 代表取締役
福元 文雄 氏
(黒酒)

鹿児島大学水産学部
加藤 早苗 准教授

伝統の発酵調味酒「黒酒」の酵素や成分が食品の機能性やおいしさに与える効果を、鹿児島大学との共同研究を通して明らかにしています。



川薩地区プラザ

令和8年度活動方針（案）

川薩地区プラザでは、地域産業の持続的な発展と会員相互の交流促進を目的として、地域の特色を生かした活動を展開してまいります。本年度は、企業を取り巻く環境が大きく変化する中、DXやAIの活用、地域産業の活性化、産学官連携をテーマとした研修・交流事業を推進いたします。

活動の第一弾として、4月23日には薩摩川内市長 田中良二様をお招きし、「薩摩川内市のまちづくりと産業振興」をテーマにご講演いただきました。地域の将来像や企業に期待される役割について理解を深める貴重な機会とし、会員企業の経営や地域との連携に活かしてまいります。

今後も、地域企業同士のネットワークづくりを進めるとともに、鹿児島県工業倶楽部の活動と連携しながら、川薩地域から新たなビジネス機会や地域活性化につながる取組を積極的に推進してまいります。会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



川薩地区プラザ会長 小城 年久
(小城製粉株式会社 代表取締役会長)

南薩地区プラザ

南薩プラザでは、地域企業の皆さまと一緒に学び、成長する機会として、AI（人工知能）をテーマにしたセミナーを開催します。AIは難しいものと思われがちですが、日々の業務の効率化や人手不足への対応、情報発信や販路拡大など、さまざまな場面で活用が広がっています。セミナーでは、AIの基本から実際の活用事例までを分かりやすく紹介し、「自社でも取り入れてみたい」と感じていただける内容を目指します。また、参加企業同士が気軽に情報交換できる交流の場も設け、新たなつながりやビジネスのきっかけづくりにもつなげていきます。

地域企業がともに学び、支え合いながら、南薩地域のさらなる活性化につながる活動を進めてまいります。



南薩地区プラザ代表 清木場 真一
(（有）清木場果樹園 代表取締役)

出水地区プラザ

出水地区プラザでは、コロナ禍以降停滞していた活動を再始動し、地域企業の活性化と会員相互の交流を一層深めるため、新たな取組を展開してまいります。出水市・阿久根市・長島町それぞれの地域資源や産業特性を生かし、鹿児島大学をはじめとする教育・研究機関との産学連携や行政との連携を積極的に推進します。

また、新幹線や高速道路整備による交通利便性の向上を地域発展の好機と捉え、企業視察や講演会、情報交換会などを通じて新たなビジネス機会の創出を目指します。会員企業の発展と地域経済の活性化に貢献できるよう、特色ある活動を展開し、出水地域全体の魅力向上に努めてまいります。



出水地区プラザ 代表
鶴田 均



65歳で再雇用が
終わる従業員から
もう少し働きたいと相談があった。
今までの経験を活かせる
再就職先はないかな？

一時的に社員の
仕事がなくなってしまう。
そんな時どうすれば
いいの？

採用って難しい。
当社に合う人を紹介
してくれたら
助かるのに。

雇用の問題 お悩み解決のための サポートをします！

ハラスメント防止など
セミナーの必要性は
感じているが、
なかなか手が回らない。

他社に出向して
広い視野を持ってもらい、
当社の業務改善に
つなげたい。

早期退職を
募らなくてはいけなくなった。
従業員の次の就職先を
見つけたい。

安心のサポート

そうだ
相談してみよう



下記の都道府県事務所にお問い合わせ下さい

産業雇用安定センターとは？

1987年（昭和62年）労働省（当時）、日経連、産業団体などが協力して、
「失業なき労働移動」を支援する公的機関として設立。
以来30余年にわたり、再就職・出向などによる企業間の労働移動をサポートしています。



全国の労働局・
ハローワークと
連携



全国
47都道府県に
事務所を設置



相談・紹介・
仲介・斡旋の
費用は無料



設立以来、
27万人の
再就職・出向の
支援実績



1人の求職者に
一人の
コンサルタントが
マンツーマンで
サポート

お問い合わせ先



公益財団法人 産業雇用安定センター（ジョブ産雇）鹿児島事務所

〒890-0053 鹿児島市中央町26-18 南日本中央ビル4階

TEL: 099-812-9551 FAX: 099-258-9101

ご利用時間

9:00~17:00（土・日・祝日を除く）

<https://www.sangyokoyo.or.jp>

ジョブ産雇

検索

